

健康づくり企業の取組紹介

従業員の健康づくりに積極的な企業の取組みの一例を紹介します。

取組概要

健康支援金で社員の健康づくりをサポート

「健康支援金」を毎月の給与に上乘せし、自発的に健康につながる取組みが行えるよう、資金面でサポートしています。スポーツジムに通ったり、マラソン大会に参加するなど、健康増進のための活動の費用に充てられています。

パーソナルトレーナーによる健康プログラム

社員の健康不安の改善、健康意識の向上を図るため、社内研修としてパーソナルトレーナーによる健康プログラムを全社員で取り組みました。社員自らが設定した目標に向けて取組みを行った結果、健康診断での数値が改善するなど大きな成果が得られました。

自社の取組みを積極的に発信

社員の健康増進に関する取組みを広報活動として社外発信することで、これから健康経営を始める他社へのモデルケースとなり、地域社会に対する健康増進の啓発を行っています。社外への発信を通じて、社員の家族・友人・関係者を巻き込み、社員以外の方にも横展開した健康づくりを行っています。

社員の声

パーソナルトレーナーと取り組んだ「食と運動の3ヶ月プログラム」は、仕事の一環として業務時間の中で行い、数値・体質・意識改善を図り、社員皆で結果にコミットすることができました。

おかげで、体重、BMI、体脂肪率、血圧、コレステロール値など多くの数値が改善し、薬やお医者さんに頼らない健康的な生活を取り戻すことができました。

健康でなければいい仕事ができないので、今後も継続して取り組みたいです。



家族を誘ってジムイベントを開催

健康経営をサポートする県の取組み

富山県では、働き盛り世代だけでなく若い世代も運動不足や睡眠不足が課題となっています。こうした生活習慣は、メタボリックシンドロームや生活習慣病のリスクを高めていると考えられることから、運動、減塩、睡眠など基本的な生活習慣の改善に向けた様々な取組みを実施しています。

富山県民の健康に関するデータ

1日あたりの歩数

男性：7,247歩（全国29位）

女性：6,074歩（全国37位）

運動不足
かも…？

出典：H28国民健康・栄養調査

「睡眠で十分休養が取れていない」と回答した割合

男性：44.7%（全国ワースト1位）

女性：46.1%（全国ワースト1位）

よく
眠れていない
かも…？

出典：第6回NDBオープンデータ特定健診質問票データ（40～74歳）

元氣とやまかがやきウォークで歩こう！

運動習慣定着に向けて、県公式スマートフォンアプリでウォーキングに取り組もう。目標歩数の達成や健康クイズに正解してポイントを貯めると、健康グッズやAmazonギフト券などが当たる抽選に応募できます！アプリのダウンロードやポイントの獲得方法等の詳細は、県のWEBサイト「とやま健康ラボ」で確認できます。



かがやきウォーク 検索



就活生必読

健康経営を行う働きやすい企業を選ぼう！

働きやすい企業選びのコツ教えます！

健康経営って何？

経営者が、従業員等の健康づくりを経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。企業が健康経営の取組みを進めることで、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や株価向上など、従業員と企業双方のメリットにつながると期待されています。

就活生の皆さん、就職先を検討する際に、企業の健康経営の取組みもぜひ参考にしませんか。

NEXT PAGE

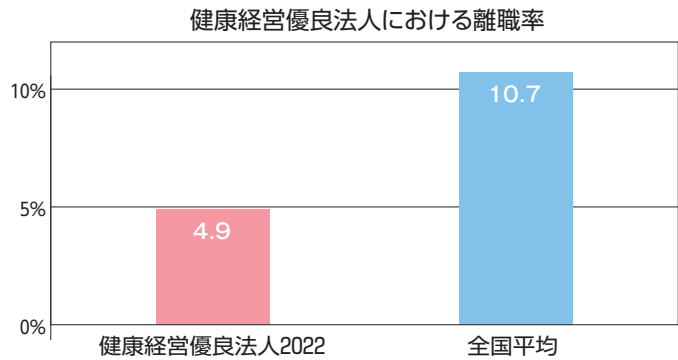
- ・就職先選びに健康経営の取組みが重要になる理由？**働きやすいって本当!?**
- ・健康経営に積極的な**企業の探し方**は？

働きやすいってホント？ データで見る健康経営企業

なぜ就職先選びに健康経営の取組みが重要だと言えるのか、その理由を知っておこう！

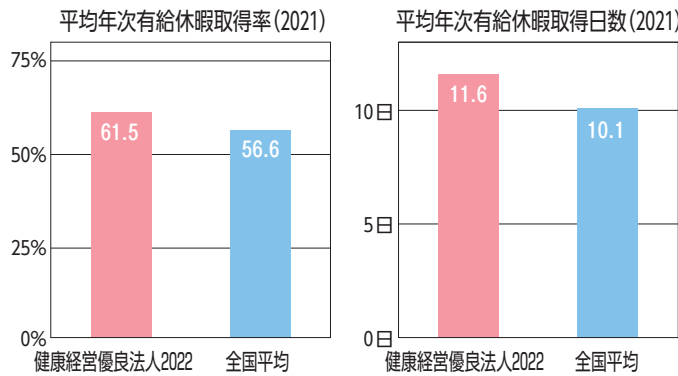
離職率が低い！

健康経営が進んでいる企業は、一般労働者の離職率と比較して離職率が低くなっています。企業では、身体健康だけでなく、メンタルヘルス不調者の予防やサポート体制の整備など、心の健康づくりにも取り組んでいます。



休みが取りやすい！

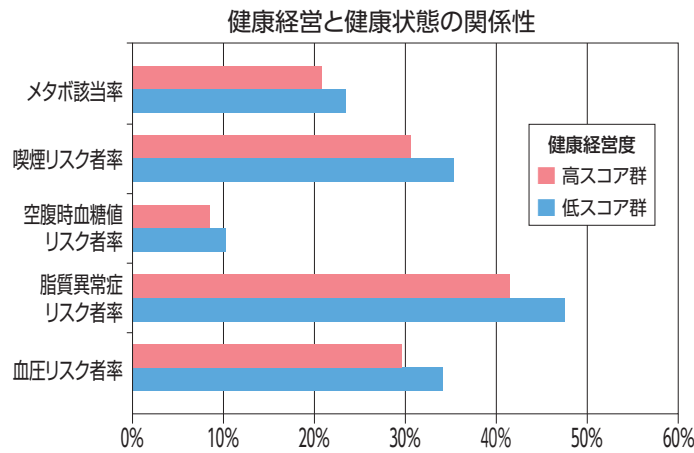
健康経営が進んでいる企業は、年次有給休暇の取得率・取得日数ともに全国平均よりも高くなっています。有給休暇の取得促進のため、企業では、有給休暇の計画的な付与をはじめ、休みやすい職場づくりに取り組んでいます。



健康的に働ける！

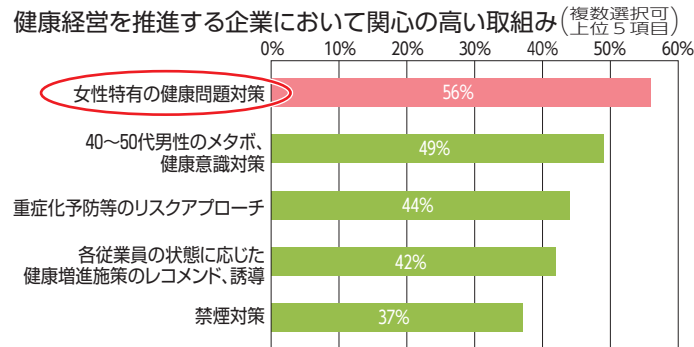
健康経営が進んでいる企業では、従業員のメタボ該当率や血圧リスク等の健康リスクが低く、年間医療費平均も低くなっています。体調不良などに伴う従業員一人当たりの労働生産性損失は、年間76.6万円※ともいわれ、従業員が健康な企業は労働生産性も高いといえます。

※H30横浜市調査結果より



女性も働きやすい！

健康経営が進んでいる企業では、女性特有の健康問題対策への関心が高まっています。女性が働きやすい社会環境の整備を進めることが、生産性向上や企業業績向上に結びつくと考えられるからです。



資料：健康経営の推進について (R4.6経産省)、健康経営における女性の健康の取り組みについて (H31.3経産省)

健康経営に積極的な企業はこうやって探そう！ 健康経営に関する認定制度

国や県の認定制度や表彰制度を参考に、企業の取組みについて知っておこう！

とやま健康経営企業大賞

企業で働く従業員に向けた健康づくりの取組みについて、特に先導的かつ他の企業への横展開が見込まれる優れた取組みを行う企業等への県知事賞。年間6社程度しか表彰されませんが、それだけに受賞企業は、従業員の健康づくりにおいて積極的な取組みを行っている企業となっています。

受賞企業の取組みは県のWEBサイト「とやま健康ラボ」に掲載されています。➡



(令和4年度表彰企業の皆さま)

とやま健康企業宣言

経営者が、健康経営に取り組むことを宣言する制度で、県と協会けんぽ富山支部、健保連富山連合会の3者が共同して推進しています。宣言後に取組みを進めることで2段階で認定を受けることができ、令和5年3月現在、約780の企業が宣言し、認定に向けて取組みを進めています。

宣言企業や認定の状況は県のWEBサイト「とやま健康ラボ」に掲載されています。➡



健康経営銘柄・健康経営優良法人

健康経営銘柄は経済産業省が東京証券取引所と共同で選定し、健康経営優良法人は経済産業省が制度設計を行い日本健康会議が認定しています。大規模法人部門と中小規模法人部門があり、それぞれ上位に入る法人は、「ホワイト500」(大企業)、「ブライト500」(中小企業)と呼ばれ、上場企業のうち特に優れた取組みを実践している企業は「健康経営銘柄」に選定されます。制度の詳細や認定状況は経済産業省のHPに掲載されています。➡

